令和５年度語科　第２学年年間指導計画　　合田　淳郎・和田　祥子

「教材名・指導目標・言語活動」欄の記号は、「◎指導事項　★言語活動　▼主体的に学習に取り組む態度」を表す

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	見えないだけ ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 詩を通読する。 気に入った言葉や表現、疑問に思った言葉や表現をノートに書き写し，その理由をまとめる。 2 気に入った言葉や表現、疑問に思った言葉や表現を発表する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】進んで語感を磨き，今までの学習を生かして朗読しようとしている。
1　広がる学びへ				
4月	アイスプラネット ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表C(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	4	1 作品を通読する。 2「ぐうちゃん」について整理する。 3「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 4「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 【態】積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え，学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
4月	［聞く］問いを立てながら聞く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)ア） ◎（思・判・表A(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	1	1「友達の提案」を聞き，要点をメモする。 2 メモを基に，意見や根拠について検討する。 3「上達のポイント」を読み，学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 提案内容を理解し，その要点を的確にメモしている。 「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 意見と根拠の結び付きに注意して聞き，疑問点や確認したい点を明確にしている。 【態】進んで論理の展開などに注意して聞き，今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
4月	季節のしおり　春 ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	春の行事・暦に関わる言葉や，春の情景を詠んだ詩歌などを味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
４月	枕草子 ◎（知・技(3)イ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ウ）	3	1「枕草子」を朗読し，古文を読み味わう。 2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】 「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，学習課題に沿って自分な

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				らではの季節感を表す文章を書こうとしている。
5月	情報整理のレッスン 思考の視覚化 ◎（知・技(2)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を読み，情報を整理し，視覚的に表す方法を理解する。 2 問題1～3に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【態】学習課題に沿って，積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。
5月	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	5	1 調べる職業を決め，情報を集める。 2 集めた情報を分類・整理する。 3 紙面構成を考える。 4 下書きし，紙面を作る。 5 完成した作品を読み合い，感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し，学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
5月	漢字１　熟語の構成 漢字に親しもう１ ◎（知・技(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を読み，熟語の構成の種類について理解する。 2 練習問題に取り組む。 3 P40「漢字に親しもう1」に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
2　多様な視点から				
5月	クマゼミ増加の原因を探る ◎（知・技(1)オ） ◎（思・判・表C(1)ア） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	4	1 本文を通読する。 2 全体と部分の関係に注意して，構成を捉える。 3 文章と図表の関係に注意して，内容を読み取る。 4 考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において，文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】積極的に文章と図表などを結び付け，学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
6月	思考のレッスン１ 具体と抽象 ◎（知・技(2)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を読み，具体と抽象の概念を理解する。 2 問題1，2に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【態】学習課題に沿って，積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
6月	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする ◎（知・技(1)ア） ◎（思・判・表A(1)イ） ◎（思・判・表A(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	5	1 提案内容を決めて，情報を集める。 2 効果的な話の構成を考える。 3 プレゼンテーションをする。 4 プレゼンテーションを振り返り，よかった点や改善点を考える。 5 学習を振り返る。	【知・技】言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において，資料や機器を用いるなどして，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【態】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し，学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
6月	漢字に親しもう２ ◎（知・技(1)ウ）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	▼（主体的に学習に取り組む態度）			までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	文法への扉１ 単語をどう分ける？ ◎（知・技(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 P59の導入や解説を読み，単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ，そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 P234文法1「自立語」を読み，自立語の各品詞の性質などについて理解する。	【知・技】単語の活用，助詞や助動詞などの働き，文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に自立語について理解を深めようとしている。
情報社会を生きる				
6月	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ウ） ★（思・判・表B(2)ア）	3	1 メディアを比べて，特徴を理解する。 2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 3 情報の受け取るときの留意点を考える。 4 学習を振り返る。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，多様な方法で集めた材料を整理している。(B(1)ア) 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し，学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
３　言葉と向き合う				
7月	短歌に親しむ 短歌を味わう ［書く］短歌を作ろう ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ウ）	4	1 P68「短歌に親しむ」を通読し，短歌を朗読する。 2 短歌についてまとめる。 3 P72「短歌を味わう」を読み，内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 4 P73「短歌を作ろう」に取り組む。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，観点を明確にして短歌を比較するなどし，短歌の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え，学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
7月	言葉の力 ◎（知・技(3)エ） ★（思・判・表C(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1 全文を通読する。 2 文章を要約して，内容を捉える。 3 筆者の考え方について話し合う。 4 振り返る。	【知・技】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
7月	言葉１　類義語・対義語・多義語 ◎（知・技(1)エ）	2	1 導入の課題に取り組み，言葉どうしの関係性について興味をもつ。 2 教材文を読み，類義語・対義語・多義語につ	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使う

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	▼（主体的に学習に取り組む態度）		いて理解する。	ことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に類義語と対義語，多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
7月	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 言葉を分類して，類義語を集める。 2 類義語を比較し，わかったことを話し合う。 3 P81「対義語を考える」に取り組む。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ ◎（知・技(3)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を通読し，さまざまな読書活動を知る。 2「本の紹介合戦」,「読書ポスター」,「本のリスト」の中から，夏休みに行う活動を選ぶ。 3 活動の内容に沿って，見通しを立てる。 4 グループごとに活動を行い，感想を発表し合う。 教室ではなく，学校図書館で授業を展開することも考えられる。	【知・技】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【態】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り，今までの学習を生かして，本の魅力や感想を共有しようとしている。
7月	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内　本の世界を広げよう ◎（知・技(3)エ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表C(2)ウ）	1	1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。 3 P87「本の世界を広げよう」を参考に，今後読みたい本を考える。	【知・技】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】進んで表現の効果について考え，学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
7月	季節のしおり　夏 ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	夏の行事・暦に関わる言葉や，夏の情景を詠んだ詩歌などを味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
9月	盆土産 ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表C(2)イ)	4	1 全文を通読する。 2 作品の構成を捉える。 3 登場人物の言動の意味を考える。 4 自分が捉えた作品の印象を伝え合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】粘り強く登場人物の言動の意味について考え，学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	字のない葉書 ◎（知・技(3)エ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表C(2)イ)	3	1 全文を通読する。 2 二つの思い出を整理する。 3 表現に着目して，人柄や心情について読み取る。 4 父親に対する「私」の思いについて考える。 5 学習を振り返る。	【知・技】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
9月	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す ◎（知・技(1)ア） ◎（思・判・表A(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表A(2)ア)	1	1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。 3 学習を振り返る。	【知・技】言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】粘り強く論理の展開に注意して聞き，今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
9月	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く ◎（知・技(1)ア） ◎（知・技(1)カ） ◎（思・判・表B(1)ウ ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表B(2)イ)	3	1 手紙と電子メールを比較し，活用場面を考える。 2 伝えたい内容を決め，通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】 言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 敬語の働きについて理解し，話や文章の中で使っている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し，学習課題に沿って通信手段を選び，通信文を書こうとしている。
9月	[推敲]表現の効果を考える ◎（知・技(1)カ） ◎（思・判・表B(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表B(2)イ)	1	1 木本さんの手紙の下書きを読み，適切な文字や表記に書き改める。 2 ……線部㋐㋑について，より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】敬語の働きについて理解し，話や文章の中で使っている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を整え，今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
9月	言葉２　敬語 ◎（知・技(1)カ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 導入の例文を読み，敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み，敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み，敬語の組み合わせについて考える。	【知・技】敬語の働きについて理解し，話や文章の中で使っている。((1)カ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。
10月	漢字２　同じ訓・同じ音をもつ漢字　漢字に親しもう３ ◎（知・技(1)ウ） ◎（知・技(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を読み，同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。 2 教材文を読み，同じ読みで意味の異なる言葉（同音異義語）の使い分けについて理解する。 3 P121の練習問題とP122「漢字に親しもう3」に取り組む。	【知・技】 ・第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】学習課題に沿って，積極的に同音異義語を理解し，漢字を読んだり書いたりしようとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5　論理を捉えて				
10月	モアイは語る――地球の未来 ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表C(2)ア)	4	1 全文を通読する。 2 文章の構成に着目し，内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開について考えている。((1)エ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。((1)オ) 【態】粘り強く論理の展開について考え，学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
10月	思考のレッスン２ 根拠の吟味 ◎（知・技(2)ア） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 教材文を読み，根拠を吟味する方法を理解する。 2 問題1，2に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【態】今までの学習を生かして，積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
10月	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★(思・判・表B(2)ア)	4	1 課題を決め，分析する。 2 立場を決めて考えをまとめる。 3 反論を想定して，構成を考える。 4 意見文にまとめる。 5 意見文を友達と読み合う。 6 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く根拠の適切さを考え，学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
10月	漢字に親しもう４ ◎（知・技(1)ウ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	［討論］異なる立場から考える ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表A(2)イ）	1	1 テーマに沿って集められた①～⑧の事実を読む。 2 賛成・反対それぞれの立場の人が，①～⑧を基にどんな意見を述べるのかを考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで意見と根拠の関係について理解し，今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
10月	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表A(2)イ）	4	1 討論のテーマを決め，情報を集める。 2 立場を決めて，考えをまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論を振り返る。 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで互いの立場や考えを尊重し，学習の見通しをもって討論しようとしている。
11月	音読を楽しもう　月夜の浜辺 ◎（知・技(1)エ）	1	1 全文を通読する。 2 詩を声に出して読む。 3 表現に着目し，その効果について考える。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎（思・判・表C(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)		4 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。	【思・判・表】「読むこと」において，詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
11月	季節のしおり　秋 ◎（知・技(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	－	・秋の行事・暦に関わる言葉や，秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
6　いにしえの心を訪ねる				
11月	源氏と平家 音読を楽しもう　平家物語 ◎（知・技(3) ア） ◎（知・技(3)イ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1「源氏と平家」の資料を読み，「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。 2「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。 3 冒頭部分を音読し，独特の調子とリズム，言葉の響きを味わう。 4 冒頭部分の現代語訳を読み，「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 5 作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り，学習課題に沿って朗読しようとしている。
11月	扇の的 ――「平家物語」から ◎（知・技(3)ア） ◎（知・技(3)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表C(2)イ）	3	1 全文を通読する。 2「平家物語」の冒頭部分と「扇の的」を繰り返し朗読する。(学習①) 3 登場人物の言動から，心情を考える。 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】進んで登場人物の言動の意味について考え，学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
11月	仁和寺にある法師 ――「徒然草」から ［書く］人物の特徴を捉えて論じよう ◎（知・技(3) ア） ◎（知・技(3)イ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)イ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ア）	3	1 全文を通読する。 2「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。(学習①) 3 本文を読み，内容をまとめる。 4 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて，考えたことを話し合う。(学習③) 5 学習を振り返る。 6 人物の特徴を捉えて，文章にまとめる。 7 文章を友達と読み合い，学習を振り返る。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 【態】積極的に考えたことを知識や経験と結び付け，学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
11月	漢詩の風景 ◎（知・技(3) ア） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表C(2)イ）	3	1 全文を通読する。 2 漢詩の特徴を生かして朗読する。(学習①) 3 解説を手がかりに，漢詩を読み味わう。(学習②) 4 好きな漢詩を選び，その理由を伝え合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において，観点を明確にして漢詩を比較するなどし，漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】進んで作品の特徴を生かして朗読し，学習課題に

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				沿って好きな漢詩を選び，その理由を述べようとしている。
7　価値を語る				
12月	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ ◎（知・技(2)ア） ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎「(思・判・表C(1)エ) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表C(2)ア）	4	1 全文を通読する。 2 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 3 文章を比較して，構成や表現の特徴を捉える。 4 考えたことを文章にまとめる。(学習③) 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し，今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
12月	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表B(2)ア）	2	1 作品を鑑賞する。 2 表現の効果を考える。 3 鑑賞文を書く。 4 文章を読み合い，意見交換をする。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】進んで表現の効果を考えて描写し，今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。
12月	漢字に親しもう５ ◎（知・技(1)ウ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	文法への扉２ 走る。走らない。走ろうよ。 ◎（知・技(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)	2	1 P187の導入や解説，P238文法2「①活用」を読み，「活用」の意味や用語について理解する。 2 P239文法2「②用言の活用　1　動詞の活用」を読み，動詞の活用について理解する。 3 P241文法2「②用言の活用　2　形容詞・形容動詞の活用」を読み，形容詞・形容動詞の活用について理解する。	【知・技】単語の活用，助詞や助動詞などの働き，文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に単語の活用について理解しようとしている。
読書に親しむ				
12月	研究の現場にようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内　本の世界を広げよう ◎（知・技(3)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★（思・判・表C(2)ア） ★（思・判・表C(2)ウ）	1	1「研究の現場にようこそ」を通読する。 2「クモの糸でバイオリン」を通読する。 3 感想を伝え合う。 4 P191「本の世界を広げよう」を参考に，今後読みたい本を考える。	【知・技】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り，今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
12月	季節のしおり　冬	－	・冬の行事・暦に関わる言葉や，冬の情景を詠	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎（知・技(1)エ） ▼(主体的に学習に取り組む態度)		んだ詩歌を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
8　表現を見つめる				
1月	走れメロス ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表C(1)イ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ア）	6	1 全文を通読する。 2 作品の設定と構成を押さえる。 3 場面の展開に即して人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ，語り合う。 5 学習を振り返る。	【知･技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え，学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
1月	漢字に親しもう６ ◎（知・技(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1月	文法への扉３　一字違いで大違い ◎（知・技(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 P215の導入や解説を読み，付属語の働きについて考える。 2 P244文法3「①付属語」を読み，付属語の種類について理解する。 3 P244文法3「②付属語の種類 1 助動詞」を読み，助動詞の働きについて理解する。 4 P246文法3「②付属語の種類 2 助詞」を読み，助詞の種類と働きについて理解する。	【知・技】単語の活用，助詞や助動詞などの働き，文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。((1)オ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2月	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く ◎（知・技(1)オ） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ウ）	4	1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 2 題材を考える。 3 物語の設定とあらすじを考える。 4 構成や展開を工夫して物語を書く。 5 友達が書いた物語を読み，助言し合う。 6 学習を振り返る。	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において，表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し，学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
2月	言葉３　話し言葉と書き言葉 ◎（知・技(1)イ）	2	1 導入の例文から，話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 音声の特徴から話し言葉を捉え，文字の特徴	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に話し言葉と書

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	▼（主体的に学習に取り組む態度）		から書き言葉を捉える。	き言葉の特徴について理解しようとしている。
2月	漢字３　送り仮名 ◎（知・技(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 導入の例から，送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。 2 教材文を読み，送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 3 P223の練習問題に取り組む。	【知・技】第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)ウ） 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり，書いたりしようとしている。
2月	国語の学びを振り返ろう ◎（知・技(1)オ） ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表A(1)オ） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ） ★（思・判・表B(2)ア）	5	1 グループで話し合い，壁新聞のテーマを決める。 2 壁新聞の内容を話し合う。 3 壁新聞を作る。 4 壁新聞を読み合い，感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。（(1)オ） ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し，今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。
3月	木 ◎（知・技(1)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1 詩を通読する。 2 詩の中の印象に残った表現を挙げ，どんな印象を受けたかを話し合う。(学習①) 3 表現の意味を考える。 4 作者のものの見方について語り合う。(学習③)	【知･技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)エ） 【思・判・表】「読むこと」において，詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。
振り返り				
3月	学習を振り返ろう ◎（知・技(1)ア） ◎（知・技(1)カ） ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表C(1)ア） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表A(1)イ） ◎（思・判・表A(1)エ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表A(2)ア） ★（思・判・表B(2)イ）	3	1 P256の小説を読み，学習課題に取り組む。 2 P257の提案を聞き，学習課題に取り組む。 3 P258のメールの下書きを読み，学習課題に取り組む。	【知・技】 ・言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・敬語の働きについて理解し，話や文章の中で使っている。（(1)カ） ・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫してい

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				る。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ・「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。(B(1)エ) 【態】進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え，今までの学習を生かして，学習課題に取り組もうとしている。